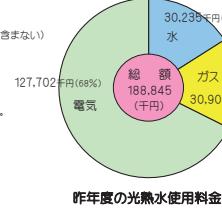


(令和2年度4月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
(1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
　大学・各附属学校・ども慶(いづみ)ナーサー・国際交流留学生プラザ・旧同窓会は含まれない
(2) 電気・ガス・水道の使用料金を日本円換算すると約52万円/日の費用です。
(電気:約35万円/日、ガス:約8万円/日、水道:約8万円/日)

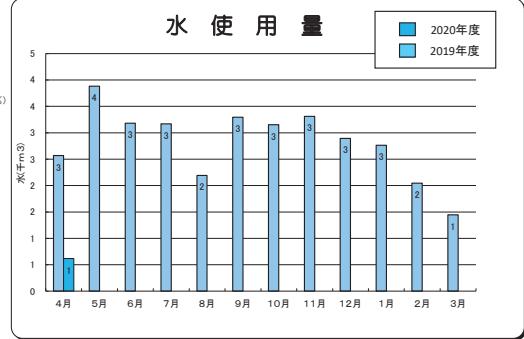


○ 省エネルギー対策の目標値について

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に実行しています。
(1) 10年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
(2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
(3) 建物の新築や改修時には壁や屋根上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
(4) 蒸気暖房を廃止して、ガス式エアコンに順次改修しています。
(5) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計5日間)

○ 省エネルギーの協力について

- 光熱水使用量・料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
(1) 教室や実験室を使い終わったら必ず照明やエアコンを停止して下さい。
(2) エアコン(使用時の室温は28℃)と暖房時20℃にして下さい。
(3) トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。
(4) 使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
(5) 建物内の移動で階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がございます。
各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に実行しています。

(1) 10年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。

(2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。

(3) 建物の新築や改修時には壁や屋根上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。

(4) 蒸気暖房を廃止して、ガス式エアコンに順次改修しています。

(5) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計5日間)

○ 省エネルギーの協力について

- 光熱水使用量・料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。

(1) 教室や実験室を使い終わったら必ず照明やエアコンを停止して下さい。

(2) エアコン(使用時の室温は28℃)と暖房時20℃にして下さい。

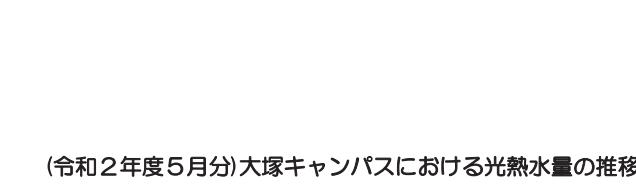
(3) トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。

(4) 使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。

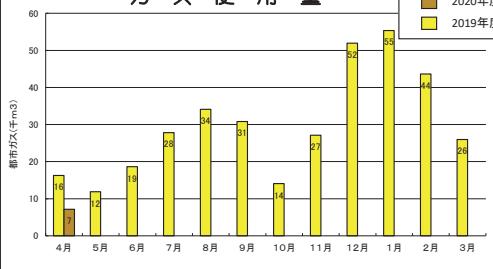
(5) 建物内の移動で階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。

<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して、節電に努めています。



ガス使用量



<ガス使用量の解説>

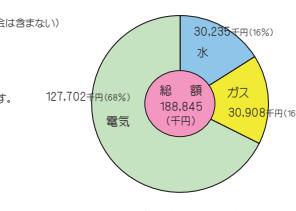
建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

文書保管元 (Excel) : 電気A/B電力管理/横計/光熱水の公表/光熱水の公表

(令和2年度5月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
(1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
　大学・各附属学校・ども慶(いづみ)ナーサー・国際交流留学生プラザ・旧同窓会は含まれない
(2) 電気・ガス・水道の使用料金を日本円換算すると約52万円/日の費用です。
(電気:約35万円/日、ガス:約8万円/日、水道:約8万円/日)



○ 省エネルギー対策の目標値について

- 本学では下記の省エネルギー対策を実行しています。
(1) 10年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。

(2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。

(3) 建物の新築や改修時には壁や屋根上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。

(4) 蒸気暖房を廃止して、ガス式エアコンに順次改修しています。

(5) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギーの協力について

- 光熱水使用量・料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。

(1) 教室や実験室を使い終わったら必ず照明やエアコンを停止して下さい。

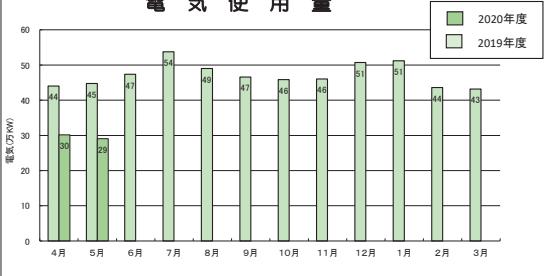
(2) エアコン(使用時の室温は28℃)と暖房時20℃にして下さい。

(3) トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。

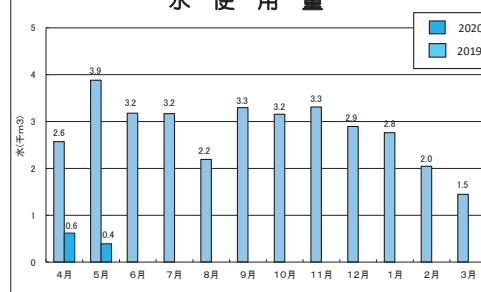
(4) 使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。

(5) 建物内の移動で階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。

電気使用量



水使用量



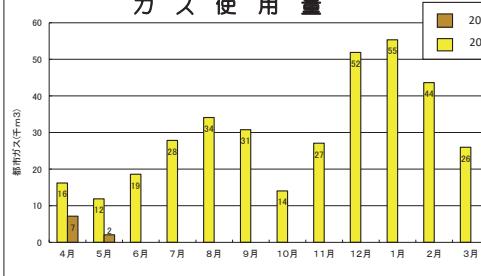
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がございます。
各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。

<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して節電に努めています。

ガス使用量



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

文書保管元 (Excel) : 電気A/B電力管理/横計/光熱水の公表/光熱水の公表

(令和2年度6月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
 大学各附属学校なども含むいすゞナーサリー・国際交流留学生プラン・旧同窓会は含まれない
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約52万円/日の費用です。
 (電気:約35万円/日、ガス:約8万円/日、水道:約8万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

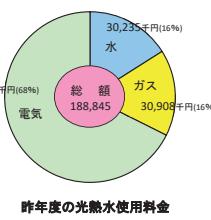
本学では省エネルギー対策の目標値を設定して各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1)目標値: 年平均1%以上の改善
 「(省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律」の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行ってています。
 (1)10年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2)老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
 (3)建物の新築や改修時に壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4)蒸気暖房を廃止して、ガス式エアコンに順次改修しています。
 (5)省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

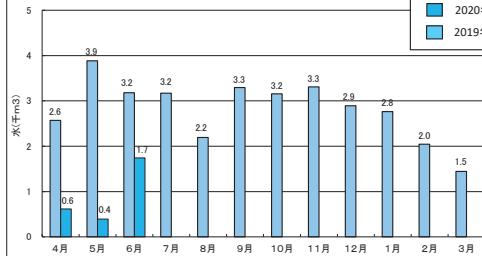
○ 省エネルギーの協力について

光熱水使用料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1)教室や実験室を使い終わったら必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2)エアコンの使用時の温度は冷房時28℃・暖房時20℃にして下さい。
 (3)トイレの暖房便座は節電モードで使用して下さい。
 (4)使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
 (5)建物内の移動で階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



水 使用 量

2020年度
2019年度

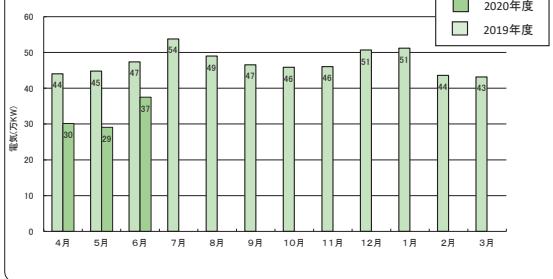


<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。
 各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。

電 气 使用 量

2020年度
2019年度

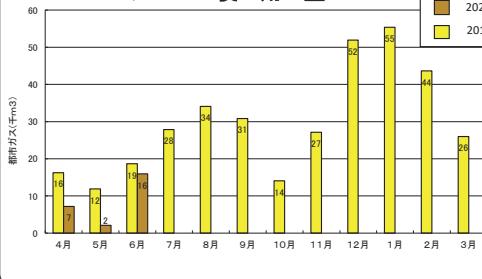


<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して節電に努めています。

ガ 气 使用 量

2020年度
2019年度



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

(令和2年度7月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
 大学各附属学校なども含むいすゞナーサリー・国際交流留学生プラン・旧同窓会は含まれない
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約52万円/日の費用です。
 (電気:約35万円/日、ガス:約8万円/日、水道:約8万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

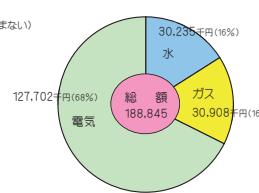
本学では省エネルギー対策の目標値を設定して各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1)目標値: 年平均1%以上の改善
 「(省エネ法)エネルギーの使用の合理化等に関する法律」の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行ってています。
 (1)10年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2)老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
 (3)建物の新築や改修時に壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4)蒸気暖房を廃止して、ガス式エアコンに順次改修しています。
 (5)省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

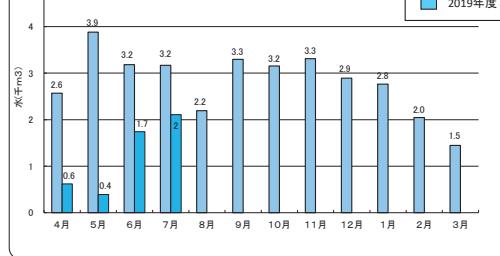
○ 省エネルギーの協力について

光熱水使用料金の現状、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1)教室や実験室を使い終わったら必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2)エアコンの使用時の温度は冷房時28℃・暖房時20℃にして下さい。
 (3)トイレの暖房便座は節電モードで使用して下さい。
 (4)使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
 (5)建物内の移動で階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



水 使用 量

2020年度
2019年度

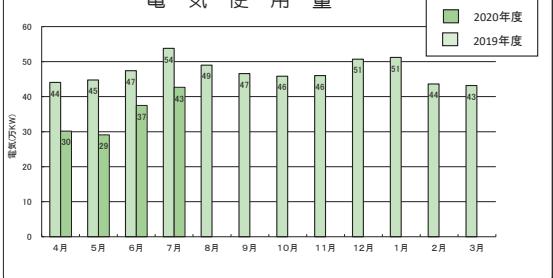


<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。
 各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。

電 气 使用 量

2020年度
2019年度

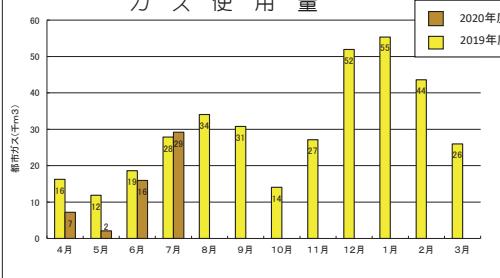


<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して節電に努めています。

ガ 气 使用 量

2020年度
2019年度



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

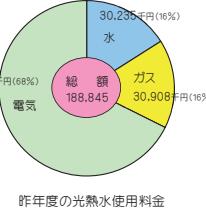
(令和2年度8月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1)大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
 大学各附属学校なども含めています。(国際交流留学生プラン・旧同窓会は含まれません)
 (2)電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約52万円/日の費用です。
 (電気:約35万円/日、ガス:約8万円/日、水道:約8万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1)目標値:年平均1%以上の改善
 「省エネ法」エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。

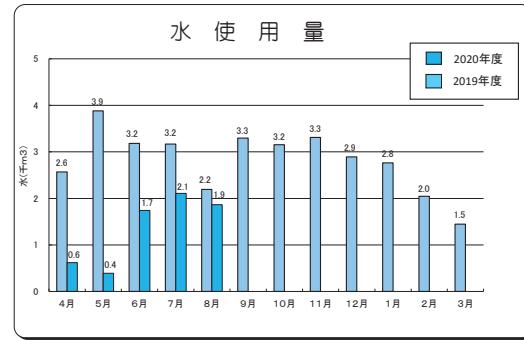


○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。
 (1)10年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2)老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
 (3)建物の新築や改修時には壁や屋根上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4)蒸気暖房を廃止して、ガス式エアコンに順次改修しています。
 (5)省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギーの協力について

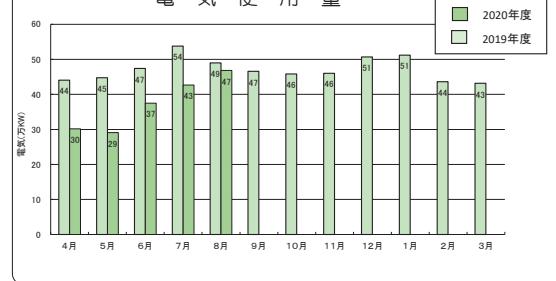
- 光熱水使用料金の現況、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1)教室や実験室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2)エアコンの使用時は冷房時20℃・暖房時20℃にして下さい。
 (3)トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。
 (4)使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
 (5)建物内の移動で1階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。
 各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。

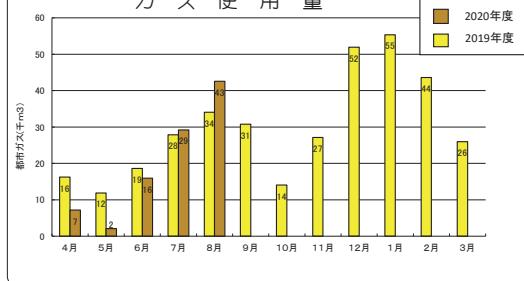
電気使用量



<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して節電に努めています。

ガス使用量



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

(令和2年度9月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1)大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
 大学各附属学校なども含めています。(国際交流留学生プラン・旧同窓会は含まれません)
 (2)電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約52万円/日の費用です。
 (電気:約35万円/日、ガス:約8万円/日、水道:約8万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1)目標値:年平均1%以上の改善
 「省エネ法」エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。



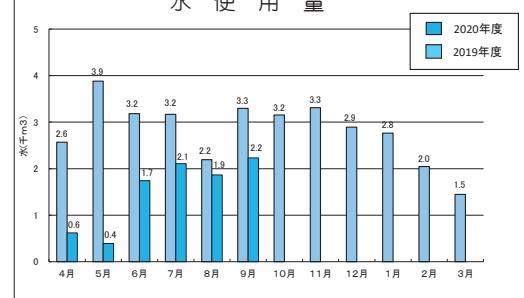
○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。
 (1)10年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2)老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
 (3)建物の新築や改修時には壁や屋根上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4)蒸気暖房を廃止して、ガス式エアコンに順次改修しています。
 (5)省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギーの協力について

- 光熱水使用料金の現況、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1)教室や実験室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2)エアコンの使用時は冷房時20℃・暖房時20℃にして下さい。
 (3)トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。
 (4)使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
 (5)建物内の移動で1階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。

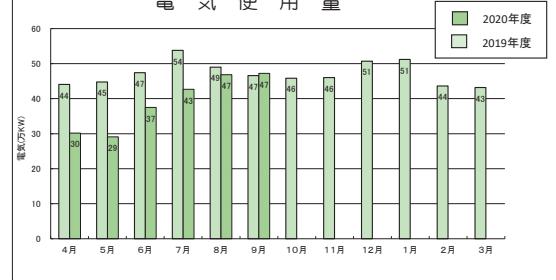
水 使用 量



<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。
 各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。

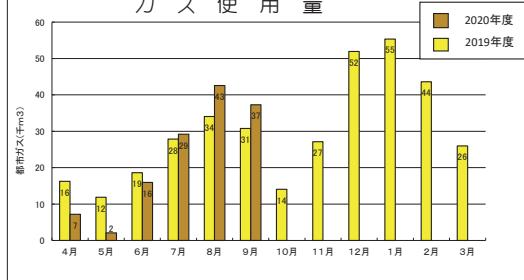
電気使用量



<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して節電に努めています。

ガス使用量



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

(令和2年度10月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
 大学・各附属学校なども含めています。(国際交流留学生プラン・旧同窓会は含まない)
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約52万円/日(費用です。
 (電気:約35万円/日、ガス:約8万円/日、水道:約8万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

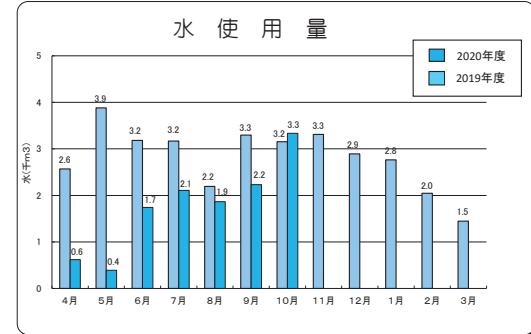
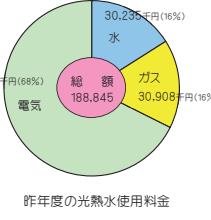
- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1)目標値:年平均1%以上の改善
 「省エネ法」エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。
 (1)10年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2)老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
 (3)建物の新築や改修時には壁や屋根上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4)蒸気暖房を廃止して、ガス式エアコンに順次改修しています。
 (5)省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギー対策の協力について

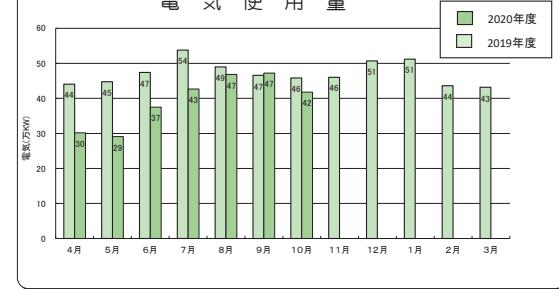
- 光熱水使用料金の現況、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1)教室や実験室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2)エアコンの運営時は冷房待機20℃で暖房時20℃にして下さい。
 (3)トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。
 (4)使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
 (5)建物内の移動で1階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。
 各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。

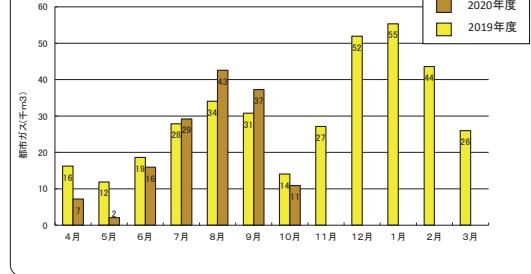
電気使用量



<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して節電に努めています。

ガス使用量



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

(令和2年度11月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
 (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
 大学・各附属学校なども含めています。(国際交流留学生プラン・旧同窓会は含まない)
 (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約52万円/日(費用です。
 (電気:約35万円/日、ガス:約8万円/日、水道:約8万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

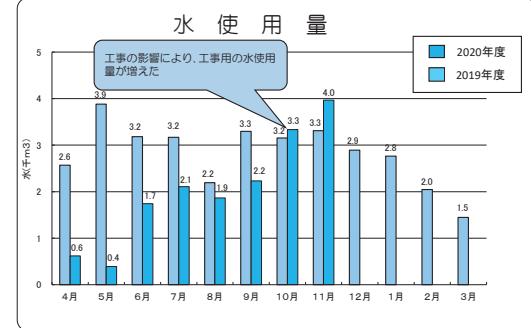
- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して各種の取組みや啓蒙を行っています。
 (1)目標値:年平均1%以上の改善
 「省エネ法」エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。

○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。
 (1)10年以上経過したエアコンを最新型に順次更新しています。
 (2)老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
 (3)建物の新築や改修時には壁や屋根上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
 (4)蒸気暖房を廃止して、ガス式エアコンに順次改修しています。
 (5)省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギーの協力について

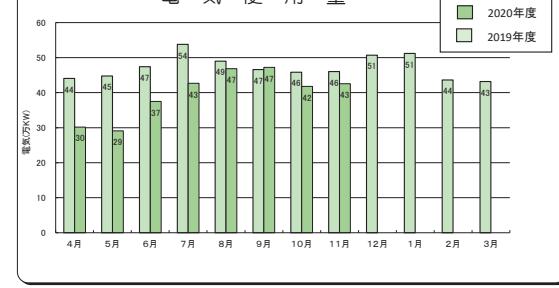
- 光熱水使用料金の現況、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
 (1)教室や実験室を使い終わったら、必ず照明やエアコンを停止して下さい。
 (2)エアコンの運営時は冷房待機20℃で暖房時20℃にして下さい。
 (3)トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。
 (4)使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
 (5)建物内の移動で1階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。
 各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。

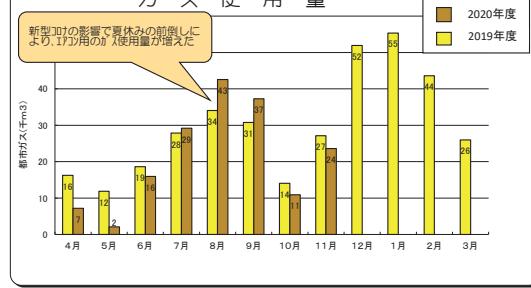
電気使用量



<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して節電に努めています。

ガス使用量



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

(令和2年度12月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

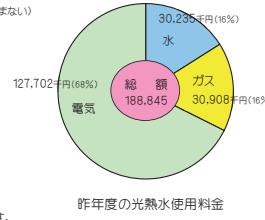
○ 光熱水量の現状について

光熱水量の現状は、下記のとおりです。

- (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
大学・各附属学校なども含めています。国際交流留学生プラン(旧同窓会は含まれない)
- (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約5万円/日の費用です。
(電気:約35万円/日、ガス:約9万円/日、水道:約8万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

本学では省エネルギー対策の目標値を設定して各種の取組みや啓蒙を行っています。
(1)目標値:年平均1%以上の改善
『省エネ法』エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。



○ 省エネルギー対策の取組みについて

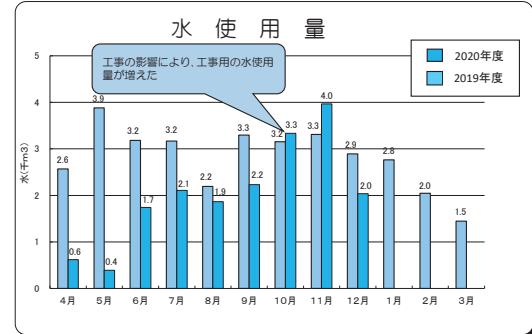
本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。

- (1) 15年以上経過したエコボを最新型に順次更新しています。
- (2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
- (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
- (4) 蒸気暖房の給湯範囲を順次縮小して、ガス式エアコンに改修しています。
- (5) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギー対策の協力について

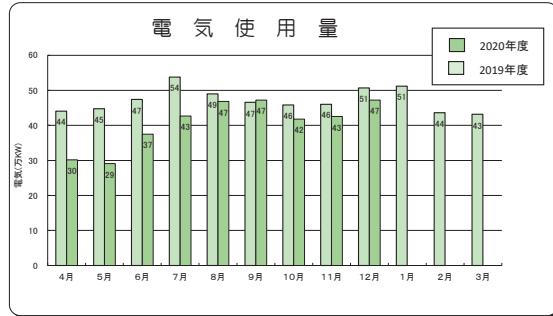
光熱水量・料金の現況、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。

- (1) 教室や実験室を使い終わったら必ず照明やエコボを停止して下さい。
- (2) エアコンの暖房便座は「節電モード」で使用してください。
- (3) トイレの使用時は「節電モード」で使用してください。
- (4) 使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
- (5) 建物内の移動で1階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



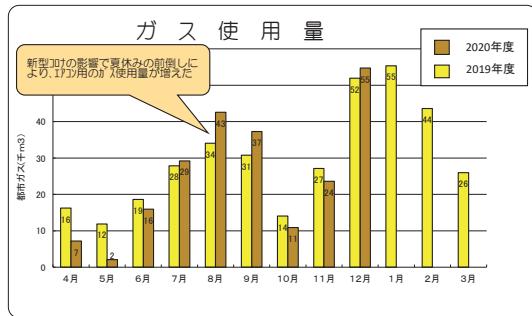
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。
各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

(令和3年度1月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

光熱水量の現状は、下記のとおりです。

- (1) 大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
大学・各附属学校なども含めています。国際交流留学生プラン(旧同窓会は含まれない)
- (2) 電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約5万円/日の費用です。
(電気:約35万円/日、ガス:約9万円/日、水道:約8万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

本学では省エネルギー対策の目標値を設定して各種の取組みや啓蒙を行っています。
(1)目標値:年平均1%以上の改善
『省エネ法』エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。



○ 省エネルギー対策の取組みについて

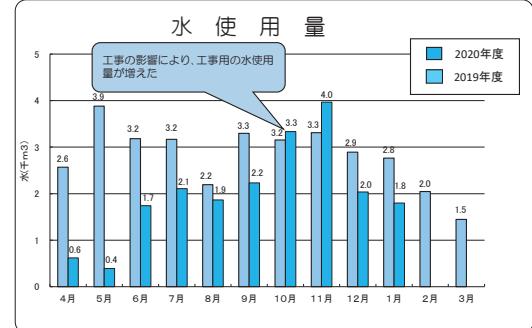
本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。

- (1) 15年以上経過したエコボを最新型に順次更新しています。
- (2) 老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
- (3) 建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
- (4) 蒸気暖房の給湯範囲を順次縮小して、ガス式エアコンに改修しています。
- (5) 省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

○ 省エネルギーの協力について

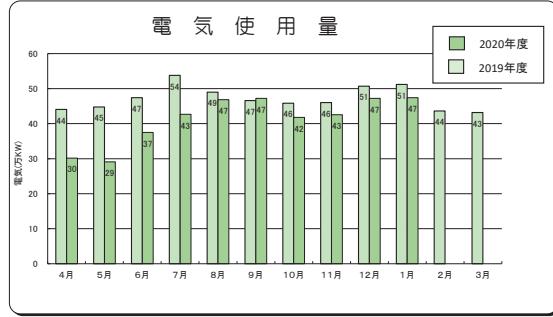
光熱水量・料金の現況、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。

- (1) 教室や実験室を使い終わったら必ず照明やエコボを停止して下さい。
- (2) エアコンの暖房便座は「節電モード」で使用してください。
- (3) トイレの使用時は「節電モード」で使用してください。
- (4) 使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
- (5) 建物内の移動で1階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



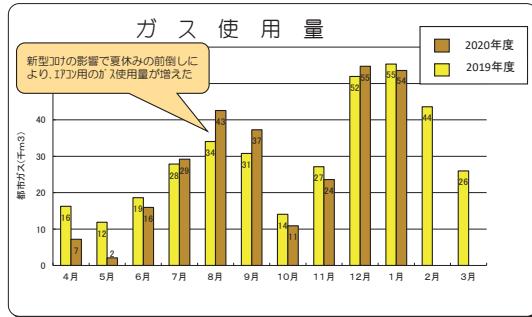
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。
各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

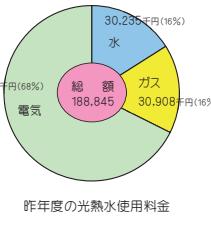
(令和3年度2月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
(1)大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
大学・各附属学校なども含めています。国際交流留学生プラン(旧同窓会は含まれない)
(2)電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約5万円/日(費用です。
(電気:約35万円/日、ガス:約9万円/日、水道:約8万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して各種の取組みや啓蒙を行っています。
(1)目標値:年平均1%以上の改善
『省エネ法』エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。

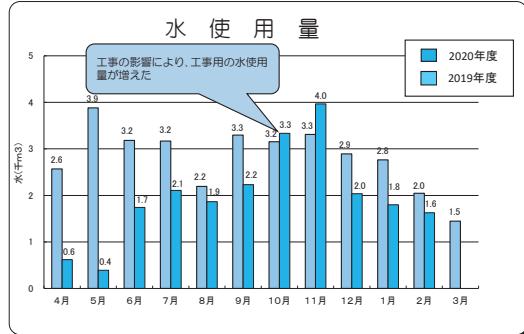


○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。
(1)15年以上経過したエコーや最新型に順次更新しています。
(2)老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
(3)建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
(4)蒸気暖房の給湯範囲を順次縮小して、ガス式エアコンに改修しています。
(5)省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

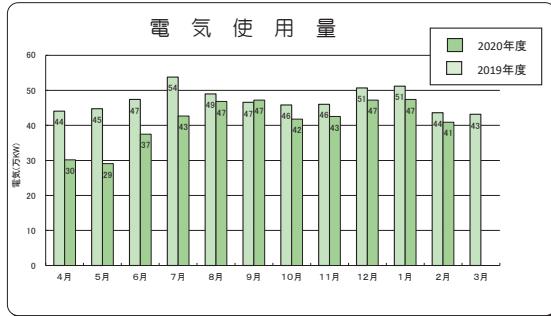
○ 省エネルギー対策の協力について

- 光熱水使用料金の現況、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
(1)教室や実験室を使い終わったら必ず照明やエアコンを停止して下さい。
(2)エアコンの運営時は冷房待機20℃で暖房待機20℃にして下さい。
(3)トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。
(4)使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
(5)建物内の移動で1階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



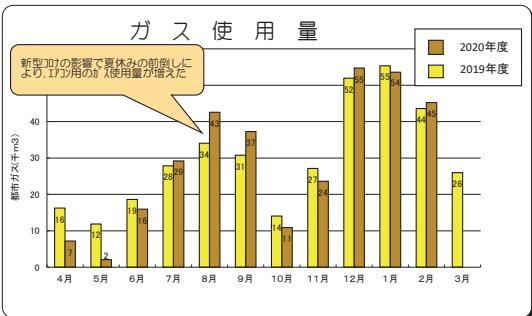
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。
各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。

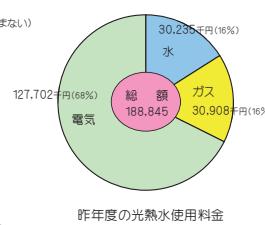
(令和3年度3月分)大塚キャンパスにおける光熱水量の推移

○ 光熱水量の現状について

- 光熱水量の現状は、下記のとおりです。
(1)大塚キャンパスの電気・ガス・水道の昨年度の年間費用は約1億9千万円/年です。
大学・各附属学校なども含めています。国際交流留学生プラン(旧同窓会は含まれない)
(2)電気・ガス・水道の使用料金を1日に換算すると約5万円/日(費用です。
(電気:約35万円/日、ガス:約9万円/日、水道:約8万円/日)

○ 省エネルギー対策の目標値について

- 本学では省エネルギー対策の目標値を設定して各種の取組みや啓蒙を行っています。
(1)目標値:年平均1%以上の改善
『省エネ法』エネルギーの使用の合理化等に関する法律の目標値とする。

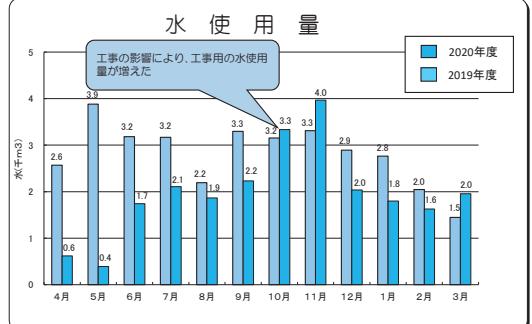


○ 省エネルギー対策の取組みについて

- 本学では下記の省エネルギー対策を積極的に行っています。
(1)15年以上経過したエコーや最新型に順次更新しています。
(2)老朽化した蛍光灯型照明器具をLED型に順次更新しています。
(3)建物の新築や改修時には壁や屋上に断熱材を設置して、建物の断熱化を行っています。
(4)蒸気暖房の給湯範囲を順次縮小して、ガス式エアコンに改修しています。
(5)省エネルギー対策の一環として毎年、教職員の夏季一斉休業を実施しています。(計10日間)

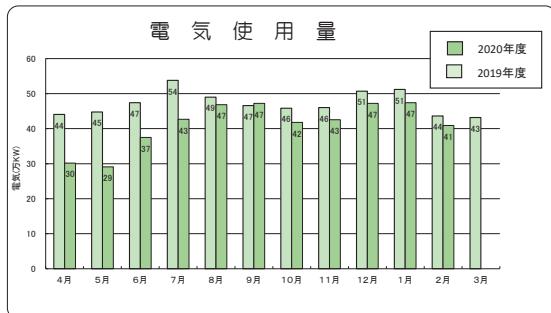
○ 省エネルギーの協力について

- 光熱水使用料金の現況、省エネルギー対策などについてご理解いただき、今後も省エネルギーにご協力下さい。
(1)教室や実験室を使い終わったら必ず照明やエアコンを停止して下さい。
(2)エアコンの運営時は冷房待機20℃で暖房待機20℃にして下さい。
(3)トイレの暖房便座は「節電モード」で使用して下さい。
(4)使用していない電気製品はコンセントから抜いて下さい。
(5)建物内の移動で1階～3階程度の上下の移動は、エレベーターを使用しないようご協力下さい。



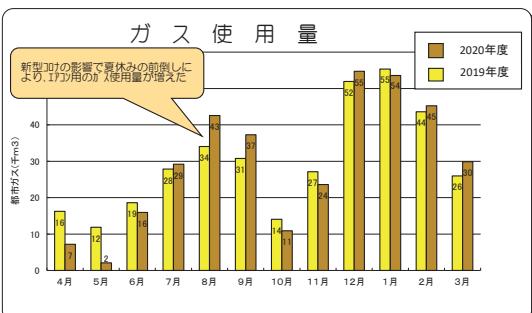
<水使用量の解説>

定期的な漏水調査及び修理を行うことにより、節水効果がでています。
各建物のトイレを順次、節水機器に改修して、水の使用量の削減に努めています。



<電気使用量の解説>

ガス式エアコンの採用やLED照明に取替え、廊下やトイレ照明の点滅を人感センサー式に改修して節電に努めています。



<ガス使用量の解説>

建物改修時には、ガスコンロを廃止して、IHコンロに切替えたこと、又暖房用ボイラーの供給範囲を見直したことにより、使用量が減少傾向にあります。